明治廿七年五月一日印刷
明治廿七年五月四日發行

婦人衛生雜誌

第五拾四號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌

第五拾四號

目次

講演

◉女子のやまひ（承前）　醫學士　增田知正君

◉乳齒出齦期發病の講話　ドクトル　伊澤信平君

衛生叢談

◉精神病に關する警視廳令◉巢鴨病院入院手續◉衛生に關する化學的分拆の成蹟◉日蝕と眼病◉腸胃病專門家試驗室◉兩醫伯の演說大要◉石花菜の無害◉震死の治療法◉老醫の奇特◉女醫の必要◉高齢者の增加◉三百餘人の中毒◉櫻餅の中毒◉恙虫◉長崎の天然痘◉牛痘苗の說明◉赤痢流行の兆あり◉施療劵の發布◉東京產科婦人科病院◉大日本婦人衛生會懇親會

◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌

第五拾三號

目次

講演

◉女子のやまひ　醫學士　增田知正君

衛生叢談

◉衛生試驗所試驗出願手續

◉醫師獸醫產婆に關する警視廳令

◉北枕は長生の秘訣

◉痘瘡の療法と古來の習慣

◉熱海溫泉塲の衛生規約

◉醫術開業及藥劑師試驗

◉胃中の電氣燈

◉携帶用食品

◉食物の調理　◉中和鷄卵

◉鯛とろゝ　◉牛肉汁

◉牛肉油煮　◉魚類ころもいり

◉雜報一束

◉大日本婦人衛生會總會

◉廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第五拾四號
（明治二十七年五月四日發行）

講演

女子のやまひ（承前）

醫學士 増田知正君

以上は御婦人一生の間の生活行程の有樣の大略を御話致したので有ます殊に月經と姙娠及分娩と月經閉収とは御婦人の身に取り大切なりといふことを御話致したので有りますが偖てこれから本題の眼目の御婦人の病といふことに就てお話を致そふと存じます。

一体前申す通り月經や分娩などは實に大切なる作用でありますが若し此等の作用に著しく澁滯する事が有りますとか或は臓器發育不全若くは病的變化の爲めに此の作用に障碍を生しますとか或は又外來の障碍を受ける樣のとがありますと即ちそれが直樣疾病となりて現出するもので有ます。ソレ故病氣も時期に因て、その起るのに違ひが有るのでありまする。丁度之を四季に譬へて申しますると恰も春は梅が咲き又た櫻が綻ひ、秋に到れは萩桔梗、薄や菊の類が咲き出ると云ふやうに婦人の病も大略は時期に從て自然と種類が違ひます且つその疾病と申すも元來或る一定の時期に於て或る一定の障碍に由て起りますもの故にその疾病は各々其ものゝ機能の性質をば自然と有し居るもので有ます。

其故に先づ第一期から申述ましやうなれば此期は則ち準備の期で出生た時から月經初發までの間の

時でありますから、男兒も女兒も殆ど狀態が同じで有りまして、女兒に限つて此れと云ふ病は無いと云て宜しい。先程申せし如く、成熟期に先立つて早く熟すのは、生理的の作用で之を疾病とは見做すとは出來ませぬ又彼の小兒時に起りまする生殖器よりの分泌液の如きも直に之を其の病の證候とするとは出來ませぬ何故ならばこれは却て其の隣にある膀胱だとか又は直腸などに病が有つてそれから繼發症となつてこういふ症を起すとがあるのです大抵女兒に於ける白帶下の如きは隣器疾患の刺衝に由て生するとが多いもので有りますから其の源を癒したならば、今まで現はれて居ッた生殖器よりの分泌液も止まり、直ぐに癒ッて仕舞ふ樣のとが有ります先づ概して言ふと第一期に於ては大した病はありません

眞個の婦人病の起るは月經初發の時より以後で有ましてそれより閉收までの間に於て非常に多い。この第二期即ち成熟の期に起るは、何かと云ふに此時は丁度、月經の初まる時故、月經障礙症即ち月經不調とか、月經過多とか、或は月經が少ないとか、無とか、或は又變ッた下り物がするとか云ふやうな病が多い。ソレはドンな風な事から起ッて來るかと云ふに、子宮の位置が變ッて居るとか、或は欣衝性の病を起すとかいふやうなとが元となるのが一番多い則ち是か爲に血行に異狀を起し遂に各種の疾患を發するもので有ます尤も此等の障礙症は決して單に此の時期にのみ限りて來るといふ譯ではありません後の時期に於ても亦た必ず現出するもので有ます殊に分娩後産褥の攝生が充分で無いと産後それが爲に子宮の位置が變ッて遂に

○不妊症即ち妊娠することが出來ない樣な病に陷る事がありまする

是に次で此時期に來る疾病は神經障碍症で御座りますこれは、或は單純に來るともありますし、或は他の生殖器の合併症となつて來るとも有ますし又た或は反射的症候となつて來る事もあります。夫故神經痛だとかヒーステリーだとか又た日本には幸にして餘り見受ませぬが營養がわるく、體質虛弱の人には舞蹈病などゝいふ病が起り又た癲癇の素因ある者なども月經の障碍と共に之を起します。

○其他亦た血行器にも病を起すとがあります而して貧血症だとか心悸亢進だとか又眞の心臟病なとを發し時には代償的月經と申して毎月の月經の代りに吐血したり鼻血を出したりなどするとが往々御座ります以上が先づ第三期に起る病であります。

又第三期にあつて起ッて來る病はどんなもので有るかと申まするに此時は即ち受胎の時期以降月經閉收期迄の間で有ますから生殖器の機能も丁度之に適應して最も盛んであつて、月經は毎月循環來往して居つて頻に受胎の機會を待つものゝ如き有樣であります而して此の時に於ては獨り生殖器の機能の旺盛なるのみならず全身の機能亦た甚だ活潑の勢を呈するもので有ります夫故に此時期に於ては男女の情慾恰も火の如く其の都度生殖器には非常の充血を致し從て排卵機なども益々盛となり遂に受胎し易き樣の都合と爲りますソコで先つ受胎といふ事になりますると子宮は漸々膨大して遂に數十倍の大さと變し終に分娩といふとにあつて子供が生まれる、子供が生れると產の時

女子のやまひ

に、産の道に傷が出來まして、其の傷が病の源となることがある、其の傷は何れの所に出來るかと云ふにこれは一々申し上た處がなか〱御了解には爲りますまいからズッと略してザッと摘んで御話致しますが先第一産の時には産道か非常の擴張を受けますからして其の道の途中にも出來まするし又後の方には直腸があり前の方へは膀胱か有りますからして夫等へも影響を及はすとが有り又モット多いのは産道の出口の所てす此處には大小いづれか傷が出來時に出ると不注意不攝生の爲此等の傷が原因となつて恐るへき危險の病症を惹起すとか御座ります故に産後といふものは極て大切で有りまして能く〱要心せねばなりませぬ第三期には此の産といふとか有から從て病の數も殖へて來ます

夫れのみならず産後には病的でなしに生理的にも變化か起ります則ち婦人は一度分娩を營むとからだの工合かスッカリ違つて仕舞て最早以前の形狀に復故するとは出來ませぬ稀には一向に分らぬ人も有りますか多くは一遍妊娠すると妊娠しない前のからだとは、全く違ッて仕舞ッて、例へば乳は以前は碗を伏せたやうな形ちで居ッたのが、一度妊娠すると、ソレが遲緩して柔らかく垂れ下ッて來るとか、又腹部は柔らかくブク〱として來るとか、皮膚には色素の沈着が現れて、來まして顔などに雀班が出來ますとか又他の病でも起りますか、皮膚には破れた樣な形の小さな瘢痕が出來て來ます。無論生殖器には著しき變化を起して參ります。ソレが或人種に由りますと非常に著しく妊娠前と妊娠後とはまるで姿が違つて、大變妙

な形ちになります、今爰に一枚圖を持參しましたから御笑艸に一寸御目にかけませう。

〔ホッテントッテンの婦人姙娠後の圖を示さる〕

是れはホッテントッテンの婦人の圖であります。此の國の婦人は一遍産をしまずると皮下脂肪組織が非常に增息して參りまして、御覽の通り臀部の所などは、斯くの如くに大きくなつて來まして全く例の御棚となつて居りまする、よく繪などにもお尻を棚にして其の上に子供を載せて步行いて居る所などかありまず餘程重寶なからだで御座ります、先づ此の畵などで見まするを實に著しいのであります。

此の時期は御婦人の盛りの時とも稱すべき時で御座りまして此の時に起りまする疾病は從てその影響を婦人の身體に及ぼすとは大なるもので御座ります都て此の期に起りまする病症は種々ありますけれども同じく子宮の位置の變異などが多く又多少慢性の炎衝などが多ふ御座ります產後の養生が充分でなく爲に是等の症を來たすものと考ます殊に此時期は前の時期に比較しますと生殖器の使用繁く則ちその過度の作用及損傷的患害といふものが時によりますと一の原となつて各種の腫瘍を生じます例えば筋腫ですとかポリープですといふ樣な瘤が出來ます又た最も多いのは出血の症で有ます此は色々のとから起りますがもし之に罹ると大に貧血の狀を呈し時には之が爲に危險に陷る樣のともありまする左程までになくとも大に健康を害なし虛弱となるもので有ますそれから漸々年取りて四十年以上位になると癌といふ病などを發するとが有ます癌に罹ると營養大に衰へ殆んと復た

救ふ可らざるの境界に陷ります是等の腫痕の發生しまするのは素因のあるとがあり遺傳のあるとがあり又營養不良に因るとがありますが最も與て力あるのは產殊に頻回の出產にあるもので御座ります

此時期には此他また卵巢病の發するとが有ます此病は例の卵巢の瘤にて或は卵巢囊腫とか或は肉腫とか或は纖維腫とかいふ樣のもので有ます又其のほか子宮の出血とか月經の多いとか子宮炎とか其の近傍の結締織炎とか卵巢炎とかいふ樣な病症も多く又た神經性の人であるとヒーステリーを起すのが殊に盛であります

次に第四期則ち月經が閉止する時にあると生殖器は萎縮して仕舞つて其の作用は殆んとなくなつて仕舞ふもの故此部に病の起るとは餘程少なくなつて來ますが然し之に反して此度は全身の病が多くなつて婦人特有の病といふものは大に少ない全身症に就ては一々は申しませぬが先づ婦人は月經がわがると身体の工合が變ると同時に精神の狀態が餘程變るものにて人に由り色々ですが或ひは大へんに氣が鬱ゐで仕舞ふ人も有りますが又或る人は氣が荒くなるとか、酒を飮むとか云ふ樣な事を起して參ります。併しながら此月經閉收時期は昔は死亡數が多いと云ふて恐れましたが決して死亡數は多い事は無い、又一体からいふと病も決してソンなに澤山の事は無いので有ります。隨分養生が宜しいと八十までも百までも又百以上までも無病息災に長壽を保つ人も御座ります

以上述ました所は甚だ粗畧でありましたが然してれで大抵其時期よ從て種々の病が起つて來る、

而して其病の種類も其時期に因て違う又たそれはドウ云ふ樣な病であるかと云ふ事に就て先づザットト御話し致した積りで御座ります序でに一寸モウ一ッ御話しをして置きますが此は日本には無いが西洋に多くある病 即ち肝臟絞搾症で有ます是れば西洋には最も多いのでありますが、幸ひにして我か日本には有りませぬ、トハ又なせかといふに是れは衣服が違ふから無いので御座いますがこれだけは誠に幸ひのとであります。まづ大凡は是れだけで殆ど御話し盡した積で有ります。嘸かし皆さまには御聞苦しいとで御座りまして御退屈であつたで御座りましたろう

終に臨んで一言申しまするが前述の如く疾病は種々の狀態となつて起つて參りますが此を治するは果して何かと云ふに「疾病を治するものは藥劑に非す疾病を治する者は即ち醫なり」

乳齒出齦期發病の講話

ドクトル 伊澤信平述

昨年不束なる講演を致したるに御介意なく今日更に一座の講演を御聽納下さるゝは私に於て實に感謝に堪へません斯く皆樣方の衞生に御熱心なるに於ては私も從來些少たりとも腦裡に畜積したる事項にして多少御利益と爲る點は漸々覆臓なく吐露するとに決したり緣なき衆生は渡し難しの諺論の如く御熱心ならざる御方に如何程申上ぐるも所謂馬の耳に風にて只た辨を弄ぶのみにして何の効なし然るに此の如き御熱心の御方の御集合に於て御話するは私に取りて誠に喜悅となれば以後齒牙養生法を幼年中年老年と區別し講述とに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

乳齒出齦期發病の講話

定めたり今日は先回に引續き幼年齒牙養生の中乳齒出齦る時發る諸病の御話を致さん
乳齒の出づるは生理學の法則に基き天理に出づるなれば決して他の疾患を起し吾人に害を與ふる理由なし然るに往々諸種の異狀を發見するは例之御産を爲されたる御婦人に産科醫の手を籍ることは甚た稀有てありましよう只僅に産婆の手を籍り御安産なさるてありましよう然るに今日の講師たる千葉君の如き先生の御臨を要するに至るとあるは世間往々あるとなり出齦の疾病も此の次第と同一にて無き様である者なり
乳齒出齦に於て病を發するは御當人の不幸にも關かるとなれとも又々御養育者平生の不注意も關係尠らす
右疾病中には往々黄泉の客と爲るか或は生涯不具となる事ありて甚た恐るべきことでありまする右死亡に就き日本の統計をば承知せざれとも數年前の英國の統計に由りますると出齦爲めに死を致す者十二ヶ月經過以内の嬰兒に於ては百人の中四の割合たり又た十二ヶ月經過以后より三歳の間は百人の中七の割合でありまする又た突然腦神經病を起こし死亡する小兒を檢ぶるに屢々出齦に歸因することとあり此觀察より歐米の古典に毒齒なる說を記載せり即ち口腔には一種の齒牙ありて種々人體に害をなし之を拔かざるときは命に係ると隨分世には三寸の舌を以て人を毒殺するとはあれとも天理は人名を損ふ齒牙を發生し人を毒殺すると期して無きとと推察す是れ蓋し齒科醫術未た開けざるに際し出齦に誘發せる疾患を誤認るならん乳齒の出齦の期節は既に先回亂排の話に於て申したる如く

通常五ヶ月に始り三十六ヶ月即ち三歳に達し上下二拾枚の全數を出齦し此期節を完結す此年齡中は到底自個の苦惱を他人に口述ヿ能はされば只た傍より想像するの外途方なし昨今小兒科は西洋の方法に因り精巧なる診斷法を以て患者の口述を煩はさず完全なる診斷を爲し得れとも漢方にては往々診斷に苦むとあり故に小兒科を一名啞科（ヲヽシカ）と稱へたり出齦苦惱或は之れより起る諸病苦痛も到底嬰兒自ら訴ふると能はす是を以て鞠育者は此年齡に於て疾患を起したるときは出齦に歸因するや否やを視察し大患に至らさる前早く病を起したる源因たる出齦困難の排除を計り最愛の嬰兒を不具或は黄泉の客と爲さゝるなり

通常齒牙の出齦接近に至るは唾液分泌量を增し痛癢を齦內に感じ兎角指頭を其部に入るゝ性とあり他人其部を指頭を以て摩擦すれは輕快を覺ゆると見へ嬰兒滿足を呈はす尙ほ一層接近すれは齦肉紅潮を帶ひ熱を感し脹起硬化を現はし暫時にして齒牙の壓迫の爲めに特別なる白色を帶ぶるに至る又た屢々脹起著しくありて瘤狀を呈するとあり且糜爛するに及ぶ夫れ齒齦の結搆は人体他の軟組織皮肉の類に比すれは甚た硬固き物なれば健態に在りては刺戟に堪ゆると他に勝れり然れとも一旦右の如き焮衝の狀態を呈はすや其疼痛劇しく他の軟組織に其比を視ると能はす此際には嬰兒哺乳を拒むとありて往々身体他部に疾患ありと誤診するとあり然れとも注意を爲さるれは充分了解せらるゝとあり即ち齦肉の焮衝より起る哺乳拒絶は乳頭の齦肉に觸るれば苦痛を感するを以て嬰兒其苦痛を免かるゝの意なり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

乳齒出齦期發病の講話

其他下痢を發するとあり劇烈下痢は害ありと雖も輕症に至りては放置きて益ありて害なし一類或は兩頰著しく紅潮を呈すとあり是神經不和に陷ひりたるの診斷に供せらる頰部頭部或は全体に發疹を起すとあり口唇舌齦頰の內面等に潰瘍を發するとあり又た鼻部の痒感筋肉の拘攣瞳孔散大驚醒症口渴食慾減少等は出齦困難の劇症と知るへし尙ほ一層劇症たるときは諸事に不滿を呈し癇氣を起し縱橫と爲り眠りたるときは呻吟し眠らざるときは泣き或は號呼し傍人如何程慰むるも聽き納れず手遊等を視れば手當り次第放擲し傍人を拍ち又は抓く等の神經の不和を呈す

視力にも多少影響を及すとあり其內往々發見せらるゝは光線に堪へ難きにや眉部に皺を湊合するとあり又た頭毛耳部を牽引する者あり

消化機にも不和を呈し食餌を拒み或は嚥むときは直に吐き出し惡氣を催ふし下痢を發し漸々身体の衰弱を來たす

出齦期節に於て最も恐るへき神經不和症たり死を致す源因は此不和症多額を占む就中病の進みて昏迷或は腦膜炎を發するに至りては死に近きは知るへし

神經は体內の電話線たり腦は電話交換局たり今は東京より電線を以て何事も橫濱まて瞬間時に傳ふる世間なれば齒齦より腦なる交換局に事件を傳ふるは皆々樣も決して不思議と思召ざるべし故に齒齦の不和の爲めに腦其他に疾患を來たすのは橫濱の如き距離に傳ふるに比すれば此所(齶を指す)と此所の(腦を指す)の僅少の距離あれば實に容易となり惡事千里を走るとは明治時代を看破したる

古人の金言たり今は中々油斷のならざる時代たり身躰は古來より兎角惡事を千里に走らすの發明を爲し一部に疾患あるときは往々累を他部に及ぼすことあり故に苟も身躰の健康を計らんと欲する者は一局部の疾患として輕々放置てへからず

弱目に祟目と申すことあり之を譬へて申さば平生品行方正なる人には讒言の魔入の筈なし疾病も此の如く平生養生に注意し健康なる人には魔入ると能はず假令ひ出齦作用猛惡を他に及ぼすとするも身躰他部健康にして病に抗抵力强ければ決して死籍に陷ゆる如き疾患に侵かさる者に非ず平生健康を計るは病魔を防ぐに最も良き手段たり

平素健康を計る法方即ち本題にては少兒養生法に就ひては小兒專門科に御質問あれは不束なる 私 より高説あるべし故に 私 は大畧申上けんに食餌の注意衣住及其近傍の注意適宜の運動等は最も肝要なるへし食餌は齒牙の出たるは咀嚼の爲めなれば最早固体食物を與ふるも差支なしと迷信し急に食物の性質を變するは不可なり食物の流体(乳等)より固体に移すは極めて除々なるを要す衣服の嬰兒のみ淸潔なる服を着くるも其取扱人の衣服不潔なるときは養生を計る本旨に非ず住居も大厦高樓に住むとも新鮮の空氣に乏しく日射の乏しき空氣流通に乏き等に於ては本旨に協はず

精神を安逸に爲すは嬰兒生育に取りては極めて肝要なることあり故に可及的充分安眠を爲さしめ其熟眠法も水兵の釣床の如き西洋の搖籃の搖動するは安眠の多少を害すると考へり矢張日本固有の淸潔なる蒲團の綿を厚くし 或 西洋臥床に靜に安眠さする方至當ならん鞠育者同衾するの害は既に御承

知のことなれは爰に省く其他小兒の疾患に罹るときは其可愛の際膝下に置き左手を以て抱き右手を以て小兒を暗々に脊打ち附くるは精神安静に背くなれは須らく謹むべきことなり昨今の小兒は身体の生長より精神の生長度に過ぐ理屈は長手なれとも身体は弱しとは西洋文明輸入の利益中不利の點なり故に近來は舊來なき諸種の疾患を發生し醫者を驚かすことあり小兒に知慧而已生長するも何の効なし只た空々若々として生長せしめ異日大成を期するを涵養せしむるは母の義務なるべし

右は平素養生法の大意にして素より完美したる者に非す畢竟小兒科諸先生の養生話談を御採納なされ然して尚は出齦により疾患を發するときは御當人の御不幸なり此際に當りては手前味噌の事も申すも恐入たる次第なから御掛り附けの歯科醫に御依頼なされ早く適當なる處置を爲され歯科醫にして全身療法必用と認むるときは是れは何れの専門家に御依頼然るへしと申するなれば御掛り附の専門家に御依囑なされ最愛の御子様方の不幸を速に除かれんことを欲します

衛生叢談

◎精神病者に關する警視廳令

精神病患者を取扱ふ上に就き警視廳令第二十五號を以て左の如く達せられたり

精神病患者を看護治療の爲め制縛若くは鎖錮し又は官立公立私立病院に入れんとする者は其事由を詳記し親族（親族なきときは緣故ある者）二名以上連署したる書面に醫師の診斷書を添へ

所轄警察署又は警察分署に屆出で認可を受くべし其制縛鎖鋼を解き又は退院せしめたるときは三日以內に該警察署又は警察分署に屆出づべし
犯したる者は一日以上十日以下の拘留又は五錢以上一圓九十五錢以下の科料に處す但明治十七年一月甲第三號布達は廢止す

◉巢鴨病院入院手續

東京府巢鴨病院へ施療又は自費入院の許可を得んとするものは左の手續に依り出願すべし

一施療入院願書には親族（親族なきときは緣故あるもの二名以上連署し患者居住地の警察署又は警察分署の認可書を添へ所轄郡區役所を經東京府廳へ出願すへし

一自費入院願書には親族の（親族なきときは緣故あるもの）保證人二名以上連署し患者居住地の警察署又は警察分署の認可書を添へ直に該院へ出願すへし

◉衛生に關する化學的分拆の成蹟

今回京都に開きたる大日本私立衛生會第十二次總會へ大坂府より出したる昨年六月廿一日より本年三月卅一日迄に行ひたる衛生に關する化學的分折の成蹟は世人日用の飲食品及び雜品の有害無害を試驗したるものにて衛生上心得とあるべき事柄あるを以て左に其成蹟表を掲ぐ

飲食品	良	否	計
洋酒及摸造酒類	二四	一八	四二
ラム子	二一	二〇	四一
蜜柑水類	四	六	一〇
天然炭酸水	二	一	三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

飲料水	二〇九	五三四	七四三
製氷原水	五九四	一二	六〇六
氷	四	〇	四
菓子類	一四	二四	三八
蒲鉾	二	七	九
湯葉	〇	二	二
寒天	〇	一	一
三島海苔類	〇	二	二
赤飯	〇	一	一
着色料	八五	一一八	二〇三
牛乳	一、二三〇	一〇六	一、三三六
計	二、一九三	八五五	三、〇四八
雜品	良	否	計
蠅取紙	二	三八	四〇
蠅取粉	〇	四	四
蟲除藥	三	〇	三
鼠取藥	一〇	七	一七
蚤取藥	二八	〇	二八
虱毛 虱取藥	〇	四	四
虱除紐		一	一
米搗粉	二	〇	二
鍍銀水	〇	一	一
計	四七		一〇〇

備考○飲料水は販賣水、氷商、多數職工を有する工場并其寄宿所、劇場の水特志者の施水等の如き公衆の飲用に供せるものなり○菓子類は干菓子、餅菓子、煎餅、饅頭、餅の類なり○着色料は酒類「ラムチ」蜜柑水、肉桂水等の飲料品并に菓子類、飴類、團子、蒲鉾、猩々海苔、寒天、麩類、昆布、漬物類等の食用品着色料を

製造販賣せしものなり

◉日蝕と眼病

日蝕ある毎に各國共に眼病の増加するよしあるか古しへ幕府のころ日蝕を直視したるより奥女の盲目となりたるの例ありたるが今眼科専門醫井上氏の説によれば去る明治廿年八月十九日の日蝕にて眼病を起したるもの甚だ多く氏の治療せしものの総て三十七人に達せしよしあるが今之を全國に通じて之を算せば或は千を以て數ふるに至らん斯くまでに多數の病者を出せしは日蝕を直視し一定の豫防法を知らざりしによるものにて本邦人は一般に眼に於ては無頓着なるか如きは嘆すべきことなり今最も簡短なる豫防法を示さんに煤炭を硝子に塗り附けるか或は極濃き煙色の眼鏡を用ゐるを簡易確實の法なりとす獨り日蝕のみならず電氣燈の强烈なる光度及雪野海面水上の反射等も亦能く眼病を發するものなれは是亦注意せざるべからずと去月六日は日蝕に該當するを以て觀望者の爲め豫防法を説れたり

◉腸胃病專門家試驗室

先頃歸朝して日本橋區本町一丁目に開業したる長與專齋翁の令息長與稱吉氏は我國に於る腸胃病專門醫の鼻祖たる人ゆゑ其試驗室の如きも帝國大學に於てすら見る能はざる程の器械を備わりて昨今は患者に就て治療的試驗をなすの外健康なる人物に就て胃液の學術的試驗をなし且つ日本食及び西洋食に用ふる食品に就て消化力の試驗をも行ひ居るといふ今讀賣新聞記者が同氏を訪ひ試驗室を一覽したる節見聞したる概畧なりと云ふを見るに先づ同所に來るべき患者は多く慢性若くは胃腸等の

難症に罹りたるものにて通常の醫師が匙を投げたるものは必ず同氏の診察を受くる次第なるが其器械的試驗をなす場合に於ては先づ普通の診察をなしたる後ゴム管にて胃液を採り次に其胃液に就て鹽酸の有無を驗しもし鹽酸を發見したるときは其分量を量て定量分析を行ひ且時としては顯微鏡的試驗を行ふこともあり而して消化力の試驗を行ふ際には孵卵器を胃と同樣の溫度になし試驗する都合にて外に尙胃の大さを量る器械もあり胃を洗滌する器械もあり胃の形狀を見る器械は即ち胃中に電氣燈を點ずるものにて目下外國に注文中ゆゑ近日到着する趣なるがこの器械は我國に一ツもなきのみならず外國の大學校にすら備へ居らぬもの少からずこれはゴム管の一端に雷燈を点すべき器械を仕掛け一條の針鉄を以てゴム管の他の一端に備へある電氣器械に通せしめ患者を暗室に入れて右のゴム管を胃中に差込み点燈する時は外部よりして明かに胃の形狀を見るを得る次第なりと又電氣療法に用ふる器械は外部より電氣を通ずる器械はあれど胃中に差込みて電氣を内より通ずる器械は目下外國に注文中なりと聞けり其他種々の器械はありしも一々記すに遑あらざるにより畧す

◉兩醫伯の演說大要

私立大日本大坂衛生會は近頃總會を開かれしが來會者二百餘名にして頗る盛會なりしとの事なるが今當日高田衛生局長中濱醫學博士兩氏の演說せられたる大要を得たれは左に揭くることゝはなしぬ

赤痢病に就きての注意　高田局長

近年本邦に於ける赤痢病の流行は非常なるものにて一昨年は七萬以上の患者を出し尙昨年は一

躍して拾七萬の患者を見るに至り隨うて其流行の區域を廣めて此大坂にも侵入し現に昨年當地の患者は貳萬以上の多きに達し今日仍此病毒に感染するものありと云へり而して之に對する豫防方法は已に夫々設けありて先一通丈けは行屆けるも實施上實に困難なる事情あり即ち第一には之に應ずる費用第二には違警罪に關する事、第三には其人を得ることと是れあり熟ら各流行地の狀況を視察するに市町村には何れも衛生主任者ありて爲し得べき丈けの事は已に之を盡せるも何分病毒の猛烈なる其消滅容易ならず然れども進んで撲滅法に注意盡力せば必ず夫丈けの効能あるべく又實に注意盡力するより外に途なし要するに赤痢病は公衆衛生の上より豫防すること最も必要にして勵行せざるべからず云々

衛生上の事業を過つべからず　中濱博士

今日衛生事項の進歩せしは言を待たず世上衛生料理、衛生齒磨等衛生の文字を用ゆるの多きを以て人々が衛生に注意するの傾きあるを知るに足らん此事獨り本邦のみならず西洋も亦然り寧ろ衛生文字の濫用に失せん歟を憂ふ而して衛生の事たる人の生命に關係あれは其用法如何に依りては危險言ふべからず一個人に就て言はんにも養生せんと欲して不養生となる例少なしとせず今其一二を擧ぐれば無病者が胃の養生をなさんとして粥のみを食ひ夏季身體に要心して重着する等の事是なり斯くの如きは寧ろ不健康を買ふを免かれず一個人巳に然り況んや公衆衛生をや公衆衛生上に最も必要なる上下水道の如きも若し一步を誤れば啻に巨額の金を消費するのみ

ならす一市の不健康を買ふに至る當地は昨年赤痢病頗る流行したり其原因は如何豫防を怠りしか當局者が職を盡さゞりしか私の見る所にては豫防方法は備り又當局者も注意を怠らざりしのみならず地方の有志者も精勵して豫防消毒に盡力したるを信ず然れども一般人民に於て充分の用意なくんば其効なからん是昨年の大流行を來せし一原因ならんか去りながら人民をして一般に衛生家となさんこと到底望むべからず西洋にても衛生に注意するは中等以上の社會のみ畢竟衛生の周密なるは注意する人々の多數なるに因る大阪下水工事の計畫あるは異擧なり上下水を一時に起工せしは本邦は勿論西洋にも其例少し當地は此二大工事を一時に起せり實に天下に對して好摸範を示したりと謂ふべし但此二大工事に伴ひ上水に對しては試驗處を設けて常に飮料水を試驗し又下水に就ては便所の構造を改良し夫の桶若くは瓶等を地中に埋め置き時々尿汁を汲出すを止め桶のまゝ取替ふることゝせば可ならん若し此等の注意をなさゞれば上下水の改良も充分其目的を達すること如何ならんか依て此際上下水の改良と共に此事の設備を望む云々

◉石花菜の無害

石花菜は春より夏にかけて需用最も多き品なるが世間には衛生上の利害に就ては疑を懷くもの多く食用には差し控へるものなきにあらずサレバ府下の海草問屋中有志の人々は深く之を遺憾とし其無害なるを明せんと圖り此度東京衛生試驗所へ衛生上の利害に就て試驗せられんことを乞ひたるに許可せられたる上早速試驗に取りかゝられしが今

回いよ〳〵衛生上無害なりとの確證を得たりされども多食するときは腸胃を害するは勿論の事なれども同商輩は爾後益々精良の品を製して廉價に販賣せんとの意氣込なりといふ

●震死の治療法

雷霆のために打たるゝは必ず死を惹き起すものにわらずして唯其外觀しか見るのみなり故に適當の治療法をたに加ふれば大抵は蘇生の見込ありと獨逸國の醫師二人の說は研究の結果として暗合するに至りたり此場合に於ては恰も溺死者を取扱ふと同一の方法によるべしといふ溺死と雷死とは其場合大に異なる處ありといへども其回復せしむべき方法に於ては同一なりといふが如し

●老醫の奇特

醫は仁術なり仁術にして廉利を之れ營めば不仁術にして擯斥するの止むを得ざるなり故淺田宗伯翁は漢家としては著名なりき隨分頑固の人なるが又中々に賞嘆すべき事少からず患者の來るあれば診察料及藥價の如何を問はず心よく診察することにて明治十五六年の頃宮內省出仕の時の如き宿直の折りには儼然として必らず束帶のまゝ就蓐するを常とせり或人異みて其故を問へば翁の曰く苟くも醫師の命を受けて皇宮に宿直す寢食顚沛の間尙且心に介する處なかるべからず事急なるの後衣服等を改めて伺候するが如きは國手の爲すに忍びざる處なり醫師の平生は須らく軍人の常の如くならざるべからず若し軍人にして常に警戒せざらんか夜半敵人の襲來に遭ひ如何に狼狽するも何の益なし是れ予の宿直の節も束帶する所以なりと云へり善いかな此言や世には急病人ありとて夜

中醫師を呼び起すもカニカクと云ひて時期を失するものさへあるに翁の誠心醫術に心を傾けしことは宜しく此點に就て褒めて可なりとす今日の醫家冀くは此風を學ばれんことを

●女醫の必要

我國開明の域に進みてより其發達の著るしきものは醫術の進歩にして吾國名譽は遠く五州に普しといへども女醫の發達に於ては未だ嘆息せざるを得ざるものあり我國一般の婦人は或は西洋流の治術に慣れさるか故に婦人病の如きは男醫に依賴するを好まざるが如し故に往々不妊症に陷り或は憂鬱症を醸すに至るも等閑に付するを免れずして遂に一大不幸を來すこと少からず我國に於ける眞正の女醫とも稱すべきものは其數實に僅少なるものなり是れ我國の慣習として女子は男子に依賴して衣食するか故に自から進んで此術を講究して世を補益するもの少きに原因するものあらんが一は完全なる女醫學校の設立なき缺點の然らしむる處なるべし是れ男女敎育の程度如何によると云へども婦人病殊に下部の病症の如きは女醫の治療に若くものなからんサレバ女醫の養成は今日の急務といふべきなり

●高齢者の增加

醫術の開けしより人々衛生の重すべきを知りしより隨て長壽者の增加せるは誠に喜ばしきことにして衛生の進否は之を以て卜すべきなり去る廿二年憲法發布の御式を行はせられし節長壽者へ下賜相成りたる金額は十四萬餘圓なりしが今回大婚御祝典の際下賜相成りたる金額は十六萬餘圓ありといふ僅かの年月を經ざるに二萬餘圓の增加を見る

に至るされは衛生の進歩と共に長壽者の增加するものと云ふを得べきか

◉三百餘人の中毒

去三月十三日の夜ボストン府に於てヘンリーフインボルク氏とマルゴリース孃との間に擧行せし結婚式は非常の盛况にて來客八百餘人に及びたる由なるが翌日に至り三百餘人は孰れも吐瀉腹痛殊に甚だしく間々半身不隨となりたるものさへあるに至りたりと右は當日の食物を最と古びたる銅鍋にて煮たる爲め其中毒に中りたるものなりと恐るべきことならずや

◉櫻餅の中毒

花は上野か向島花見返りの櫻餅は又中々に味のよきものなりサレとも茲に一の注意すべきは向島などにて花見時には櫻餅の非常に好景氣なるをもつて繁忙の際一々櫻の葉を丁寧に撿する暇なく如何なる虫類の附着するやも圖られず時節遲きながら之よりは檞餅もあることなれば今其例證を記さんに四谷傳馬町一丁目に住せる小松某は夫婦にて花見かた／＼不沙汰廻りをなし櫻餅を土產として持ち返り夫婦打ち寄りて食したるに夜中に至り俄かに腹痛をはじめて吐瀉甚たしく二三の醫師を呼ひて診察を乞ひたるに全く櫻餅の葉の毒に中てられしことゝ分り直ちに赤十字社病院へ入院治療中なりとの事なるが斯る事ありては折角の花見も苦しみを求むることゝならん注意緊要

今一ッ櫻餅に就ての馬鹿けた話は府下東多摩郡高圓寺村にては近隣の女房ども打集り櫻餅の食ひ競べをなせしが其一人は一時に三十餘を食ひしを他の一人は之に劣らず見る間に四十三個を食ひ倘食

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はんとしたるが之れが爲めか急に一聲ウントはかりに叫びて悶絶せりといふ田舍は田舍丈馬鹿けた事多しとぞいふべし

◉恙虫

越後の恙虫は一種の病患にして年々夏期に發生して人を惱ますに因り醫學博士北里柴三郎氏曾て其病源、豫防、治療等を研究したるが中蒲原郡新關村にては本年の發生期に迫ばゝ博士の豫防法を實施せん筈なるに付同縣保安課長は頃日其地方へ出張し發生地の調査を爲しつゝありと

◉長崎の天然痘

長崎にては昨年來天然痘大に流行し本年に及んでは病勢倍々猖獗なるが其患者の數を聞くに昨年中に百八十名あり本年は既に百六十餘名の多きに至れりとぞ

◉牛痘病の説明

大阪府にては本年度は牛痘苗を用ひしむることゝなり今其理由を聞くに痘苗は牛痘苗を最も善しとすれど費用に差支ゆる等にて一般に之を用ゆる能はず大阪市以外の地は今に多くは人化痘苗を用ひ來りたる處本年度よりは一切牛痘苗を用ひ結核黴毒其他皮膚病の傳染を豫防せんとて郡部衛生費に一千七百餘圓を増し之を種痘費用に充ることゝなりたり然るに牛痘苗は他痘苗と同一の施術にては不感善のもの多きに因り昨日郡部市町村の種痘擔理醫を警察本部會議室に招集し病院長より其説明をなしたりと

◉赤痢流行の兆あり

昨年流行の根本地たりし大阪は昨今又々赤痢流行の兆あり既に市に九人接續町村に五人の患者を出

せりと云ふ

◉施療劵の發布

横濱市廿七年度豫算委員會に於ては十全醫院經費中三百圓の貧民治療費を置き日々廿五名を限り横濱市役所より貧民に施療劵を出す事に決したる由なるが横濱市會も異議なく可決すべしと云ふ

◉東京産科婦人科病院

醫學士增田知正水原漸の兩氏が發起にて今度神田區駿河臺袋町へ美麗なる病院を建築なし去月廿日盛大なる開院式を行ふといふが開院の上は院内へ別に産婆講習所を設け確實懇篤なる良産婆を養成し産婆の弊風を矯正する由增田醫學士は本會の爲めにも有益なる演説を成されし方なり

◉大日本婦人衛生會懇親會

四月七日土曜日をトし開會すべき豫定なりしを天氣都合あしき故を以て雨天順延とはなしぬ翌日八日の天氣も判然せざる事なれとも略支度も整ひ居る事なれは同日は雨天に拘はらす開會の事と定め土方會長の別邸に於て開きたり是日や尙天氣模樣惡きに拘らす　總裁殿下にも御臨席あらせられ會員百名餘來會せり當日は豫て園遊會の仕組故に園内諸所に吾妻屋をしつらひ池邊あるひは樹間に接待所を設け準備をさ〳〵怠りなかりしか雨後の事とて逍遙するものも少かりき餘興としては會員寄附に係る娘手踊あり愛らしき少女粉裝を凝らし長袖翩々小蝶の花に戯るゝ如く巧に（三番叟）（供奴）（猿舞）（鞘當）（墨染）等の數番を演したりしは中々に熟練したるものにて大に會員の感を惹けり次に語笑樂の落語あり（馬鹿醫者の代診）（和歌三人）の二齣を演し右終て隨意散會する事とせり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉役員御招待　去る四月廿二日總裁　小松宮御息所殿下には會長副會長及幹事を赤坂山王社内星ヶ岡茶寮へ召させられ一同御厚待を蒙りしとの事なるが毎度ながら感佩の至に堪へざるあり

廣告

四月より五月に至る入會

○幹事北澤信子の紹介により
本郷森川町壹番地六十四號　通常會員　齋田とき子

○幹事濱田すて子の紹介により
麹町富士見町五丁目十七番地　通常會員　長田しき子

○會員矢守つや子の紹介により
深川三好町　通常會員　松村鐘子

○地方會員清水ふさ子の紹介により
神奈川縣横須賀中里九十四番地　通常會員　賀茂東美子

○會員太田龍子の紹介により
小石川久堅町七十四番地通常會員　大西幾子

○會員立石靜子の紹介により
第一醫院　杉浦たま子

○會員中村きく子の紹介により
第一醫院　河野きく子

○事務所へ申込により
第一醫院　櫻井むつ子
秋田縣仙北郡刈和金村百十八番地　通常會員　伊藤てつ子

○評議員中野悅子の紹介により
青森縣青森町大字大工町　通常會員　有田なを子
青森縣青森町大字寺町卅九番ノ十一號　通常會員　片山はな子

○會員粟屋榮子の紹介により
四谷愛住町十二番地　通常會員　税所ふじ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○會員横内岩子の紹介により

第一醫院　大原はつ子

○幹事濱田すて子の紹介により

麹町下六番町十二番地　通常會員　清田愛子

目黒麥酒會社内　通常會員　石光さえ子

轉居

神田駿河臺袋町増田病院内へ　清水うめ子

神田松永町二十二番地へ　榊原おや子

芝公園第八號地ノ二番地へ　秋庭英子

山梨縣東八代郡石和仲町二百九番地へ　鹿兒島きく子

本郷湯島天神町壹丁目廿番地へ　青木とよ子

神奈川縣浦賀町川間七百十六番地　嘉納千子

芝汐留町二丁目一番地へ　圖師さよ子

愛知縣名古屋市東外堀町四十番戸へ　井原かぞ子

神田駿河臺北甲賀町十番地へ　濱田すて子

本郷湯島六丁目廿六番地へ　名川德太郎君

麹町樞密院官舍へ　橋本ちせ子

退會

坂元とも子　保利幸子

高橋とも子　中川きく子

正誤

本會雜誌第五十三號に掲載せし近藤ともを子は室ともを子の誤に付此に正誤す

◉婦人衛生會會員住所姓名

（前號の續）

北豊嶋郡王子　鹿島いね子

下谷西黑門町廿二番地　神羽りう子

深川東大工町　鹿嶋こと子

よノ部

本郷元町一丁目六番地　吉原よね子

下谷車坂町十番地群玉社 横内いわ子

たノ部

麹町飯田町六丁目十七番地 高橋清子
神田駿河臺北甲賀町十八番地 谷口清子
神田駿河臺北甲賀町八番地 田村てふ子
神田駿河臺北甲賀町十二番地 高瀬みき子
神田今川小路一丁目五番地 田中こう子
日本橋本町二丁目十二番地 高橋こう子
京橋木挽町九丁目二十番地 高石とみ子
京橋南金六町十四番地 高崎妙子
京橋築地三丁目十五番地 高山らく子
京橋柳町四番地 瀧川淺子
芝伊皿子町七十五番地 高山あい子
芝新門前町三番地 高塚さと子
赤坂榎坂町五番地 田中てる子
赤坂南町二丁目六十六番地 竹中春子
駒場農科大學構内 多々羅とよ子
小石川關口臺町廿九番地男爵夫人 田中いよ子
牛込神樂町二丁目十六番地 竹屋雅子
牛込新小川町二丁目七番地 高山さよ子

本郷西片町十番地 田口つる子
本郷千駄木町五十番地 棚橋絢子
麻布霞町一番地 玉利乃婦子
麻布霞町二十二番地 玉利和歌子

そノ部

四谷仲町三十五番地 相馬陸子

つノ部

麹町富士見町五丁目九番地 佃うめ子
麹町下二番町七十二番地 坪井くに子
麹町元園町一丁目卅四番地 津田たま子
神田猿樂町廿三番地 角田榮子
四ッ谷植物御苑 堤松子
本郷弓町二丁目廿四番地 辻さと子
本郷新花町五十九番地 津田仲子

ねノ部

下谷池ノ端茅町二丁目四番地 根岸かな子

なノ部

本郷西片町十番地ロの十三號 中濱芳子
麹町二番町三十一番地 長森ひて子

麹町飯田町六丁目二十一番地　中村はる子
麹町永田町一丁目十七番地　中野ゑつ子
麹町元園町一丁目六番地　名倉てつ子
麹町一番町二番地　長崎多惠子
麹町永田町二丁目七番地　長郷ちよ子
麹町永田町　侯爵夫人　鍋島榮子
麻布本村町四十七番地　南部限子
麻布宮村町六十七番地　長與園子
四ッ谷南伊賀町三十六番地　長坂ゆき子
牛込舟河原町十四番地　奈良はあ子
本所龜澤町三丁目三番地磯部氏別邸　中村たけ子
深川佐賀町二丁目二十三番地　長江しけ子
牛込鷹匠町六番地　永沼貞子
麹町富士見町五丁目十七番地　長田しき子

む　ノ　部

神田猿樂町十四番地　村垣なを子
芝西久保八幡町九番地　室ともを子

う　ノ　部

麹町下六番町五十二番地　馬屋原久子
神田駿河臺東紅梅町十三番地　内田萬壽子

京橋采女町二十六番地　浦嶋てい子
芝三田二丁目一番地　梅田くわ子
芝高輪南町五十七番地　上野幾子
麻布狸穴五十八番地　植原さわ子
麻布三河臺町十三番地　内田芳子

の　ノ　部

芝公園紅葉館　野邊地たき子
赤坂田町二丁目三番地　野崎せい子
四谷千駄ヶ谷西信濃町十三番地　野崎わか子
本郷金助町十二番地　野田すみ子

く　ノ　部

麹町飯田町六丁目二番地　栗塚龍子
麹町中六番町十二番地　草苅房子
芝三田一丁目卅七番地　伯爵夫人　黒田瀧子
駒場農科大學構内　ミスセス、グラスマン
小石川大和町九番地　久世おい子
小石川金富町卅五番地　久保田八重子
本郷西片町十番地れノ二十四號　呉みな子
本郷曙町十六番地　久原秋子
京橋中橋廣小路町六番地　野澤定江子

やノ部

麹町二番町卅三番地　矢島かぢ子
麹町富士見町六丁目十四番地　山縣たか子
麹町上二番町卅八番地　山本多穂子
麹町三番町五十一番地　矢守艶子
神田駿河臺南甲賀町五番地　山崎すゞ子
日本橋本町三丁目一番地　山田そめ子
日本橋數寄屋町一番地　安井小絲子
京橋元數寄屋町二丁目一番地　山川すま子
京橋西紺屋町十番地　山本みつ子
芝田町四丁目六番地　山田くめ子
芝本芝三丁目十五番地　山岡せい子
芝巴町三十二番地　山際はる子
麻布飯倉町六十四番地　山田のふ子
芝白金三光坂町七十五番地　山田鴫子
麻布狸穴町四十四番地　谷津さた子
麻布永坂町一番地　八代操子
赤坂表町二番地　矢野れつ子
赤坂福吉町二番地　山口春野子
四ッ谷本村町三十七番地　山上よし子
牛込喜久井町五十二番地　山村とし子
下谷竹町十九番地　山川二葉子

まノ部

麹町紀尾井町三番地　松田信子
神田北神保町十八番地　馬島園子
神田鍛冶町　松屋竹代子
日本橋新右衛門町三番地　松田雪子
京橋新富町二丁目一番地　前田仲子
芝櫻川町九番地　牧かね子
芝三田二丁目十四番地　松山夫人
芝公園九號ノ七　町田榮子
麻布材木町二十四番地　松岡光子
四ッ谷北伊賀町三番地　馬渡玉子
麹町一丁目二番地　松本竹代子
牛込袋町二十五番地　牧野しん子
小石川表町百九番地　松井とも子
本郷曙町十三番地　松田章子
本郷元富士町二番地　侯爵夫人　前田朗子
下谷坂本町一丁目二十一番地　増田はな子
淺草田町一丁目十九番地　松本梅子

深川三好町	松村鐘子
ふノ部	
南豊島郡新宿御料地	福羽貞子
京橋弓町十九番地	福田きね子
麹町八丁目二十四番地	福永ちか子
麹町飯田町一丁目八番地	船曳みき子
本郷弓町二丁目	古市かう子
芝西久保神谷町二十八番地	古澤萬壽榮子
京橋宗十郎町一番地	深堀わい子
京橋出雲町十六番地	福原とく子
麻布材木町三十四番地	福地しつ子
麻布本村町五十四番地	藤田聞子
本郷巣鴨駕籠町四十六番地	深井みよ子
芝西久保八幡町九番地	深和ふみ子
こノ部	
麹町富士見町四丁目四番地	河本かめ子
麹町平河町六丁目一番地	小泉万千子
麹町七丁目二十番地 公爵夫人	近衛貞子
神田今川小路一丁目三番地	小林せき子
芝三田小山町一番地	河野せき子
芝高輪南町 伯爵夫人	後藤雪子
芝公園丸山下三緑亭	小城とら子
赤坂一ッ木町十八番地	木塲こゆり子
赤坂南町三丁目五十一番地	厚東ゆき子
赤坂丹後町四十三番地	小森すか子
牛込南町十四番地	兒島夫人
本郷切通坂町八番地	小立爲子
てノ部	
麹町紀尾井町三番地	手塚ふく子
小石川豊川町二十四番地	寺田恒子
あノ部	
本郷湯島天神町一丁目廿番地	青木とよ子
神田裏猿樂町六番地	青山かう子
神田北神保町八番地	阿部みち子
京橋山城町三番地	天野群子
淺草向柳原町十一番地	荒巻つね子
芝三田松坂町三十四番地	阿部優子
芝烏森町一番地	青木よし子
赤坂丹後町一番地	安藤つな子
本郷弓町一丁目二十五番地	朝夷けい子

下谷山下町五番地　足立清子
南豐島郡淀橋町四百十五番地　粟屋武子
南豐島郡淀橋町三百二番地　粟屋榮子
日本橋茅場町十二番地　芦田みさほ子
芝公園八號地ノ二番地　秋庭てい子

さノ部

麴町平河町六丁目二十一番地　坂谷こと子
麴町永田町宮舍　伯爵夫人　西郷夫人
神田駿河臺北甲賀町十二番地　佐々木芳子
芝北新門前町十番地　齋藤はる子
芝公園十八號　佐々木うめ子
芝葺手町十七番地　佐伯ちか子
麻布箪笥町二十八番地　澤邊れん子
麻布鳥居町九番地　實吉れん子
本郷森川町壹番地六十四號　齋田とき子
赤坂氷川町三十六番地　相良濱子
本郷西片町十番地　榊臺子
本郷西片町十番地　榊實子
下谷西黒門町十三番地　三田わさ子
上駒込二百三十二番地　佐藤しつ子
上駒込二百三十二番地　佐藤梅峯子
下谷仲徒町一丁目廿三番地　齋藤政世子
神田松永町廿二番地　榊原綾子
下谷下根岸四十四番地　佐藤らく子
本郷眞砂町三十五番地青木方　佐藤とめ子

きノ部

麴町中六番町九番地　北澤信子
麴町中六番町九番地　北澤菊子
駒場農科大學校内　喜多山つせ子
小石川關口臺町七十五番地　菊池いち子
小石川表町五十六番地　木下つね子
本郷西片町十番地　鬼頭あを子
麴町下六番町十二番地　清田愛子

ゆノ部

赤坂田町七丁目三番地　湯淺榮子

みノ部

麴町富士見町五丁目十番地　三井晴子
麴町上二番町四番地　三浦とき子
飯田町三丁目十三番地　子爵夫人　三好うめ子
神田雉子町三十三番地　宮本樂子
神田東福田町一番地　三浦數子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本橋村松町四十番地　宮田けい子
日本橋濱町三丁目十一番地　三穗のふ子
京橋築地一丁目四番地　御厨富子
芝三田四國町七番地　三島わか子
麻布霞町二十三番地　宮田みつ子
四ッ谷左門町六十一番地　三宅みち子
小石川竹早町八十一番地　三宅藤子
本郷曙町七番地　宮岡けい子

し　ノ　部

麹町中六番町明治學校　志方吟子
同富士見町二丁目四十三番地侯爵夫人　四條春子
京橋加賀町八番地　進とし子
赤坂靈南坂町十三番地　白川かつ子
芝巴町三十四番地　篠原さた子
芝新堀町二十一番地　下村ちと子
芝城山町九番地　清水とし子
赤坂青山南町二丁目二十六番地　進みち子
牛込新小川町三丁目三十番地　白井凰子
牛込佐土原町三丁目八番地　島崎とく子
王子西ヶ原　志賀八重子

神田駿河臺袋町増田病院　清水うめ子
本所若宮町五十四番地　志賀かま子

ひ　ノ　部

麹町一番町一番地　日高りき子
麹町飯田町四丁目十八番地　弘田ます子
麹町永田町二丁目三十一番地　秀嶋つね子
麹町三番町十二番地　廣瀬りき子
麹町有樂町三丁目一番地　平田よし子
芝新錢座　檜山たね子
麻布狸穴町二番地　平井かう子

も　ノ　部

神田西小川町一丁目七番地　森村はる子
京橋南小田原町四丁目一番地　森岡きみ子
芝兼房町十番地　森やそ子
赤坂南町五丁目五十番地　本尾しけ子
牛込上宮比町五番地　森安かた子

せ　ノ　部

京橋宗十郎町十一番地　瀬脇みへ子
京橋宗十郎町七番地　瀬下燕子
芝麻布一本松二十三番地　關郁子

四谷愛住町十二番地　税所ふじ子

すノ部

芝三田小山町一番地　杉いそ子
芝北町二十一番地　須賀田きん子
小石川春日町四十九番地　須田いそ子
麹町上二番町三十番地　鈴木てる子
神田猿樂町十一番地　鈴木まさ子
牛込南榎町三十三番地　末岡さだ子
下谷練塀町十二番地　須田壽ゞ子

◎本郷第一醫院

石川せき子　石井ます子
塙とせ子　堀すみ子
立石こう子　大原はつ子
代とめ子　立石静子
田村すゞ子　中村りん子
中村きく子　粂ふみ子
柳田てう子　矢崎りえ子
町田とみ子　前川てる子
船橋すゞ子　河野きく子
安藝てつ子　安西なを子

佐生けい子　櫻井むつ子
岸すゑ子　杉浦たま子

◎下谷第二醫院

伊澤さと子　大竹ひさ子
永田操子　中野しけ子
村上れん子　日下しつ子
小林つる子　荒井のふ子
關てい子　杉田わか子

◎日本赤十字社病院

原よし子　堀越たか子
千種八百子　大久保錬子
加藤ふみ子　加藤はま子
高梨ため子　植山みつ子
山田ひさ子　保田とめ子
増田乙喜代子　藤野鶴代子
淺井梅子　朝日奈とら子
鈴木祝子

(以下次號)

二十六年種痘成蹟廣島縣ニ於ケル昨二十六年中ノ種痘成蹟左ノ如シ（廣島縣）

區別		滿一歲以內	滿一歲以上滿二歲	滿二歲以上滿五歲	滿五歲以上滿十歲	滿十歲以上滿十五歲	十五歲以上	合計
初種	善感	一九、三五四	一四、九三三	七、〇四四	二、三六四	九一七	三一七	四四、九二八
	不善感	三、四三三	三、六四九	二、一〇九	八六八	五八〇	三四九	一〇、九七七
	疾病事故ニテ種痘セサル者	五、四四一	三、九六二	一、五九五	七五六	三一七	―	一二、〇八一
再種	善感	―	―	八、六一九	一四、二九六	四、五六八	二、〇六九	二九、五六二
	不善感	―	―	八、九〇六	一七、一六三	六、二八一	二、八九三	三五、二四三
	疾病事故ニテ種痘セサル者		―	三、二九一	五、三三九	一、八六三	―	一〇、三八三
三種	善感	―	―	一、二八九	二、八三一	七、九七一	六、四九七	一八、五八八
	不善感	―	―	七二九	二、八五八	一四、一六六	九、六六九	二七、四四三
	疾病事故ニテ種痘セサル者	―	―	四八三	一、八〇七	五、七四八	―	八、〇三八
合計		二八、二二七	二二、五四三	三四、〇六五	四八、一七二	四二、四二二	二一、八〇四	一九七、二三三

外ニ種痘規則第三條ニ依リ接種セシ者ノ總計八万八千八百九十三人ニシテ内善感三万七千六百八十七人不善感五万千二百六十八人ナリ

●會員募集●規約書ヲ要ス

千葉縣印旛郡野原村下井三十四番地

帝國禁酒會

明治廿七年五月一日印刷
明治廿七年五月四日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中德三郎
印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造
印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治二十一年二月二十八日内務省許可

新流行織物廣告

●御定紋織出し

風通御召縮緬御定紋織出し
風通應賀織御定紋織出し
風通一樂織御定紋織出し
風通花紋織御定紋織出し

右御定紋織出し一昨年來より大ゐに世に流行致居候品に御座候て御品柄は高尚優美限無く上品を極め貴顯方の御召物には至極適當の御品に候色合摸樣及御寸法等御好に從ひ一反宛の御注文に應じ迅速を旨とし勉めて廉價に調製仕候間御用之節は電話又は郵便にて御一報被下候はゞ直さま御尊邸へ見本持參致御用御伺奉申上候

●新意匠　更紗染メリヤス

此の更紗染メリヤスは弊店の新工風にして伸縮自在肌付最も滑にして其染色法の堅牢なる度々洗滌するも決して退色するの虞なく色相優美價額低廉地質耐久御品格極めて上品にして御肌衣には至極適當の品なるは洽く江湖諸彥の賞賛を博したる所なり依て今般尚一層の便利と注意とを加へ廣く花客の御需に應し一ダース以上御注文の御方樣へは摸樣。寸法等御好に隨ひ調製仕候間多少に不限陸續御購求御注文の程偏に奉希望候也弊店の製造品にはヤマ川の丸印青肉を以て捺印有之候間能々御認めの上御購求可被下候也

日本メリヤス製造株式會社製品特約大阪賣店　東京製絨株式會社製品販賣
日本織物株式會社織姫朱子販賣店　衛生木綿販賣店　東京市下谷區上野町一丁目

川越屋

電話百二十二番　呉服店　阿部商店

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行　（定價金十錢）